

第1回キャンパストーク（総務課 議事メモ）

日時	平成23年7月27日（水）13時30分		
場所	大学会館 大集会室		
出席者	教員	10名	
	事務系職員	36名	
	学生	28名	
	合計	74名	

開会 13時30分

1. 開会宣言

総合同会の国際文化コースの学生2名による開会宣言、及び進行の案内があった。

2. 学長挨拶

学長からあいさつ及び当キャンパストークにかかる「愛知教育大学キャンパストーク」に関する申合せの説明が次のとおり行われ、限られた時間の中で意見のくみ上げを行い、また、この機会が活発なFD活動を生むきっかけとなることを希望する旨述べられた。

- ①当キャンパストークと大学憲章にある「大学の民主的運営、学生参画の保障」の関係について
- ②共催として参加している愛教大CoNandE委員会（あいこね）の紹介
- ③話し合いの場と位置付けている「愛知教育大学キャンパストーク」に関する申合せの説明
- ④大学運営にかかる工夫の方法についての議論への期待について
- ⑤構成員それぞれが「学びがい」「つくりがい」「働きがい」のある大学について

3. 短冊・もの申すシートで募った意見・質問・要望の一部紹介及び回答

理事（総務担当）回答内容

- ・名鉄バスの増便及び料金値下げについて

知立、大学間の運行バス増便については、現在、利用者を調査中であり、近日中に学生専用の料金設定を含め、名鉄本社に交渉をすることとしている旨の回答があった。

また、日進方面並びに刈谷方面からの運行バス増便については、利用者増が見込まなければならないため（現在の利用者が少ない）、エコキャンパスの創造とCO₂量の削減の観点からも、積極的にバス利用を意識することが必要であることについて回答があった。

- ・全面禁煙について

学内全面禁煙の取り組みについて、全構成員の健康維持のためであること、学生の喫煙率について、学年が上がるにつれて上昇する実態を踏まえたものであること、及び厚生労働省の通知を受けたものであることとして回答された。

また、ポイ捨て防止アクションの実施結果として840本の吸い殻が学内で拾われたことから、全面禁煙のルール遵守がなされていないこと、及び喫煙マナー違反の現状について残念である旨述べられた。

その現状を受け、今後もキャンパス全面禁煙の体制維持の定着を目指していききたいこと、及び喫煙者の禁煙へのチャレンジのお願いについて述べられた。

最後に、キャンパス全面禁煙の定着への協力について依頼があった。

理事（教育担当）回答内容

- ・キャップ制の上限について

キャップ制については「履修の手引」に記載されており、大学設置基準に定める単位を厳格にするための適用であることについて説明があった。

- ・授業の選択がしにくい問題について

組み分けについては、部屋数や1クラスあたりの人数設定など、運用上せざるを得ない状況を理解してほしい旨述べられた。

また、一授業科目の複数開講については、担当者間の話し合い等連携を取っているところであるとの回答があった。

- ・各授業内容について

特に実践形式の授業を増やしてほしいという要望については、基礎実習を始め、教育実習等をきっかけに教育現場に必要な知識の蓄積をお願いしたい旨回答があり、他の授業内容についてはテーマセッションで話し合う旨述べられた。

理事（学生・連携担当）回答内容

- ・「教師以外の就職支援をもっとしてほしい」とする意見について

キャリア支援については、学生と指導教員との関係の中で進めていくものであり、キャリア支援課はあくまでも後方支援をする形をとっていることとして回答があり、また、年間のガイダンス等の就職支援策について紹介があった。

- ・学内交通問題について

学内交通問題は学生の意識次第であることについて回答があり、年一回実施している交通安全講習会の紹介後、学内のかまぼこ設置及びループ幹線の一方通行化等については後ほど意見交換したい旨述べられた。

- ・部活動への補助について

部活動関係の予算は、運営費と後援会予算からとなっていること、及び昨年度の予算使途について紹介があった。

理事（財務・施設担当）回答内容

提示資料（議事メモに引き続き4枚添付）に基づき、以下のことについて回答があった。

- ・おおまかな収入・支出予算の内訳について

- ・昨年度行った主な教育環境整備について

特に駐車場増設の要望については、現在の駐車可能台数、駐車許可台数及び近隣の一般的な駐車料金を基に回答があった。

- ・緊急節電対策について

5分間休憩後，テーマセッションへ

4. テーマセッション

テーマ毎に20人程度集まり，以下の4テーマについて議論が行われた。

「交通マナーの問題について」

標記テーマに係る下記の問題が挙げられ，それについての現在の状況と今後の対策等について議論され，教職員及び学生による「学内交通規制プロジェクト」を立ち上げる提案があった。

- ・ 放置自転車
- ・ 自転車の乗り入れ制限
- ・ 原付自転車の無謀運転
- ・ 自動車運転のマナー欠如
- ・ 水曜日午後の講堂前の路上駐車

「教室等の使い方やゴミの問題について」

標記テーマに係る下記の問題が挙げられ，それについての現在の状況と今後の対策等について議論され，清掃等については業者を入れて環境を保つ必要性があるが，それぞれでの個人意識で学内をきれいに保つこと，また食事のできる教室を限定することなどの提案があった。

- ・ 落書きについて
- ・ 教室内での食事後の残骸について
- ・ 忘れ物について

「教育の質保証について」

標記テーマに係る下記の問題が挙げられ，それについての現在の状況と今後の対策等について議論された。

- ・ 担当教員の採用について
- ・ レポート返却の方法について
- ・ 共通科目について
- ・ 授業における出席確認について

「窓口対応について」

標記テーマに係る下記の問題が挙げられ，それについての現在の状況と今後の対策等について議論された。

窓口の業務時間については，労働基準の問題について説明があり，昼食後に来てもらえば，ちょうどよい時間になるとの理解でお願いしたい旨意見があった。

また，職員の業務時間をずらすことについては，結局担当不在だったりして，二度手間になる可能性があるということを理解いただきたい旨意見があった。

対応の差については夏期に窓口研修を行う予定であること，学務ネットの配信については，気をつけるようにしている旨意見があり，これについてはタイマー配信を取り入れたらどうかという意見が出され，議論となった。

- ・ 窓口が昼休みに閉まっていることについて
- ・ 窓口による対応の差について
- ・ 授業中の学務ネットからのメール配信について

5. 理事(総務担当)講評

理事(総務担当)から、よい話し合いとなり、学生と大学執行部・職員との対話的な形への実現に感謝の意が表された。

次いで、「愛知教育大学キャンパストーク」に関する申合せ第3項に従い、協議内容に応じて、関係会議に提案をし、その結果を広く学内に広報していく旨、述べられた。

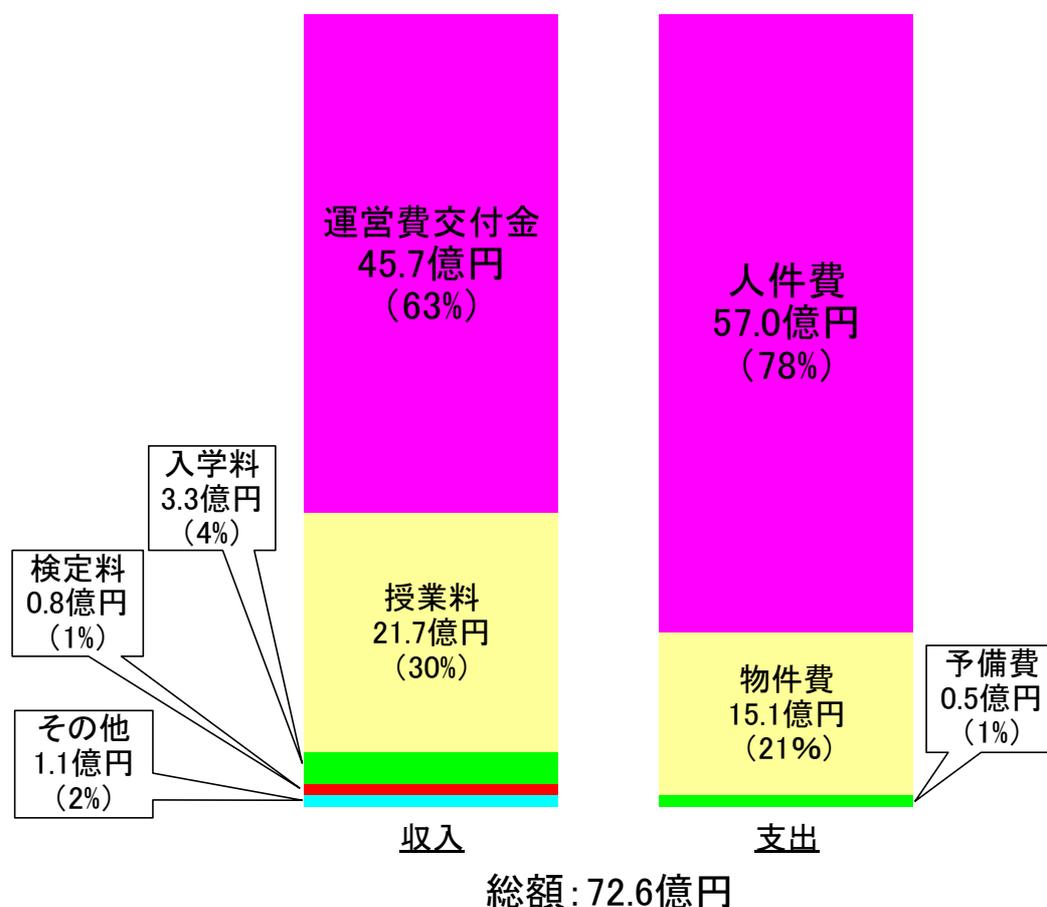
最後に、このキャンパストークのねらいとして、学生参画の実現ということで、大学運営に関して、それぞれがなんらかのパートを担ってもらい、今後も可能な方法で対話のある大学づくりをめざしていきたい旨述べられた。

6. 閉会宣言

総合司会の国際文化コースの学生2名による閉会宣言があり、不参加者に対してもフィードバックを考えている旨述べられ、閉会となった。

閉会 15時15分

○収入・支出予算(2011年度)



【収入のポイント】

1. 総額72.6億円のうち、自己収入は26.9億円(37%)です。
そのうち、授業料・入学料・検定料の学生納付金は25.8億円(35%)です。
2. のこり、45.7億円(63%)は運営費交付金という名称で国から補填(税金)されています。
すなわち、大学運営に必要な経費の大半は、国の負担となっています。

【支出のポイント】

1. 総額72.6億円のうち、57.0億円(78%)は人件費(教員、職員等)です。
2. のこり、15.6億円(22%)は、主に物件費です。
3. 物件費15.1億円のうち、教育・研究に係る経費9.3億円と通常大学を運営するために必要となる経費3.4億円を除く、2.4億円(基幹環境改善経費1.2億円、学長裁量経費1.0億円、緊急修繕費0.2億円)を大学の教育研究環境整備として緊急に対応が必要なもの及び計画的な整備を行うこととしているものに投入しています。

平成22年度に行った主な教育研究環境整備

分類	整備内容	整備金額(万円)
校舎等	大学会館喫茶室の改修工事	9,210
	第一人文棟コンセント等改修工事	
	美術・技術・家政棟・養護教育一号棟 天井材撤去	
	建物内サイン(案内板)の設置	
	自然科学棟5階第二学生実験室等改修工事	
	障害児教育棟・本部棟給水設備の改修	
	その他	
体育施設	テニスコートクレイコート改修	580
	第二体育館空調機改修	
	全天候型テニスコート膨れ補修	
	その他	
環境整備	大学構内屋外排水管改修工事	4,185
	構内樹木の剪定	
	構内駐車場整備工事	
	大学案内標識の設置(県道上)	
	外灯増設	
	その他	
附属学校等	附属名古屋小学校特別教室サッシ・外壁改修	8,681
	附属名古屋小学校プール附属屋新営工事	
	附属岡崎中学校便所新営工事	
	附属岡崎小学校渡り廊下新営工事	
	附属岡崎小学校給食室改修	
	附属岡崎小学校空調電源取設	
	附属高等学校等変電設備改修工事	
	附属名古屋小学校空調電源取設	
	附属特別支援学校更衣室新営工事	
	その他	
その他	学生寮の新営に係る設計委託	1,344
合計		24,000

2011 年度愛知教育大学緊急節電対策の目的

- ① 国の節電対策への対応（浜岡原発停止等を踏まえて）
- ② 大学は、特定事業者指定されており、年1%のエネルギー使用効率の改善をするように義務（努力義務）づけられています。
- ③ 大学の経費削減の一環として、光熱水費の削減をしています。
- ④ 上記①～③への対応を進めるための一方策として本年度は、電気使用量10%削減を目指したアクションプランを作成し実行しています。 → **みなさんのご協力をお願いします。**

2011年度愛知教育大学緊急節電対策

「電気使用量10%削減(2010年度比)のためのアクションプラン」

電気設備の集約化 (共同利用の推進)	① 冷蔵庫	4%削減
	② 電気ポット	
	③ 実験・演習機器	

電気設備の使用制限 (無駄遣いをなくす) (待機電力の削減)	① 照明	4%削減
	② 空調機	
	③ パソコン	
	④ 電気ポット	
	⑤ 実験・演習機器	
	⑥ エレベータ	
	⑦ 便所衛生機器	

デマンド抑制 (ピークカット)	① 空調停止	2%削減
	② 照明消灯	
	※ デマンド超過緊急対策	

意識改革	① 電力使用量の見える化
	② 各室電気機器の台帳化
	③ 啓発活動
	④ 省エネ推進指導員(パトロール)の組織化

その他	① 一斉休業日数の増加
	② 服装による調節(クールビズ・ウォームビズ)
	③ 壁面緑化活動

目標10%削減

- 具体例
- a 各課, 各講座単位で電気, 実験機器の共同利用をする。
 - ・共同利用の例: 電気ポット, 冷蔵庫, 実験演習機器, 低温室等
 - ・耐用年数を経過したエアコン, 冷蔵庫等の買い換えの推進
 - b 各室の照明を消灯する(事前に照度を確認する)。
 - ・廊下照明の間引き点灯
 - ・日中(窓際)の消灯
 - ・昼休みの消灯の徹底
 - ・部分(LEDスタンド)照明を活用し, 全点灯を停止
 - c エレベータの使用制限(夜間, 許可制)。
 - d スイッチ付テーブルタップ, LEDデスクスタンド, 扇風機, 照度計, 温度計の購入。
 - e 待機電力の節減(帰宅時に電源コンセントを抜く)。
 - f 空調の設定温度(夏28℃ 冬19℃)の徹底化をする。
 - g 便所ジェットタオルの使用を禁止する。暖房便座の閉め忘れを徹底する。
 - h 全学的な省エネ啓発活動(学長宣言, HP 等)を行う。
 - i 省エネ推進指導員(パトロール)を組織化して, トップダウン型の啓発活動をする。
 - j 電力使用量をできる限り細かく開示する。
 - k 省エネ啓発表示をする(スイッチ周り, 掲示板, 廊下, 便所内 他)。
 - l 夏季休業, 冬季休業を一斉に取得する。
 - m 各自, 夏季の軽装や冬期の寒さ対策をする。
 - n 夏季に壁面緑化やまき水をして, 室温の低下を促す。
 - o 各自電気機器を台帳化し, 消費電力を把握する。
 - p 自販機の夜間停止又は間引き運転をする。

注) 新規設備の導入による増加分は, 加算しない。

学外者への施設利用分は, 加算しない。

※ただし、学生の勉学への配慮から講義中の講義室の空調停止は行わない！

平成23年度 キャンパストーク Q&A 抜粋分

(キャンパストーク開催前に「もの申すシート」で受けた質問事項についての回答編)

※関係各課から複数の回答があり、回答そのものを整理して掲載しています。また、回答は平成23年7月現在のものですので、併せてご了承ください。

1. キャップ制について

《キャップ制をやめてほしい。》

《キャップ制の上限を上げてほしい。30単位ぐらいに。》

《そもそも何故キャップ制を設けているのか、学生はよく分かっていないので不満が大きい。説明や周知はどのようになされているのか。》

●大学での単位は、1単位を取得するのに45時間の学修が必要であることが大学設置基準で定められています。

ということは、大学で45時間中15時間を授業として学び、残りの30時間は予習復習で、学生自身で自主学修することとなります。

現在、運用上半期24単位としていますが、この24単位を修得するためには半期で1080時間の学修が必要となります。具体的に前期ならば15週間でこの学修をすることとなると一週間で72時間となり一日24時間中授業を含めて10時間17分以上の学修が必要となります。

この学修時間のことを考慮し、大学設置基準に定める単位を厳格にするためにキャップ制を本学では2000年度入学生から適用しています。

このことについては、「履修の手引き」に記載しており、新入生教務ガイダンス時に記載について再確認しています。

2. 授業のバラツキと選択できない問題について

《組み分け表が嫌だ、取りたい授業を選ぶことができない。変えられないか。》

《共通科目の単位認定の基準が先生によって違いすぎる。》

《授業を偶数・奇数などと安易に分けるのではなく、シラバス等を見て自分で受ける授業を決められるようにしてほしい。》

《昨年のキャンパス・ミーティングでも議論され、組織や施設の関係で選択の幅を広げることができない状況にある、と回答されているが、改善の議論・試みはその後なされていないのか。また内容や単位認定の基準化の努力はなされているのか。》

●そもそも組み分けについては、部屋数の問題、1クラスあたりの人数設定など、時間割設定上においてそうせざるを得ない状況であることを理解してください。

なお、日本国憲法、外国語科目、情報教育科目、教育科目等のような同一名称の授業科目については、本年度、成績評価割合の資料を科目実施責任母体に提供し、シラバスを始め科目別担当者の検討会を実施していただいているところです。

これらの成果については、今後の授業に反映されることと期待しています。

3. 各課程授業内容等について

・専門と教養

《1年では自分の選んだ科の学習が少ない。もっと1年のうちから専門的内容に触れた授業を受けられる機会がほしい。》

・教員養成

《実践形式の授業をもっと増やしてほしい。理論も大事だが、今の教育現場の現状では、ただ不安が募るばかりだ。》

《教育大学なのに現場の教師(をしていた)先生から学べる機会が多くない気がする。》

・現代学芸

《本当にLAは意味があるのか。必要性はないのではないか。実施しているなら(実態等についての)データを明らかにしてほしい。》

《国語免許用の授業が少ないので増やして。国文で高校地歴免許をとれるようにしてほしい。》

● 本学のカリキュラムは1・2年生に多くの教養科目を受講し、なおかつ専門科目を履修しつつ、幅広い視野を持ちながら専門科目の履修に取り組むような形式をとっています。

また、基礎実習、主免の教育実習のような実習等をきっかけに、教育現場に必要な知識の蓄積をしていきますが、大学での授業だけで教職に従事するに十分な知識を得ていることが理想です。

しかし、実際の教職に従事する学校の様子は様々であるため、不安になることもあるかとは思いますが。

そのような学生さんのために、大学での授業は変化する教育現場を察知しながら授業に生かすことを目指して努力していきます。

4. テストについて

《カンニングをもっと厳しく取り締まってほしい！テストの時は先生＋教務課の人が一人後ろから見張るなど。》

● 今年度から各学期の最終週をテスト週間として設定しています。実際の実施日は授業により違いがありますので注意してください。

また、最近、カンニング等の不正行為が発生し、半期履修し修得した単位を抹消されるという処分をされた学生さんがいます。カンニングをさせない大学ではなく、教員養成大学ですからカンニングはしない大学になって欲しいです。

5. 窓口対応について

《教務課の対応に差がありすぎる。》

《(カウンター)誰に何について相談すればいいか悩んでしまう。対応が冷たすぎる。》

● 教務課の特に窓口対応職員の個々に対して要望が多く寄せられました。これらの要望に対しては、以前より改善に向けて努力しているところであります。

ただ、窓口業務として期限がある提出物に対して、期限が守れない学生や、教員からの成績の提出遅れ等も多くあり、板挟み状態の中で、対応することは大変なことであることも理解していただきたいと思います。その中で改善を図れることは行っていくので理解と協力をよろしくお願いします。

実際には、さまざまな工夫、対応がなされているとは思いますが、学生の側での不満が依然として多い現状について、できるだけ意見を率直に出し合い、今後の改善につながるような話し合いをしたいと思います。

学生さんは、さまざまな要件により窓口に来ることがあると思います。提出物を窓口に出すケース、わからない事を聞くようなケース、意図せず呼び出しがあり訪れるケース等があります。

このご意見を出された学生さんのケースがどのようなケースであったかが分かりませんが、教務課の対応で不満を感じるものが依然続いていることは事実として受け止めます。

このことを少しでも改善するためには、前後の状況を踏まえ、どのようなケースで不満が生じたかを確認したいです。

学生サポートセンターのカウンターには、〇〇担当と表記した案内板が設置してありますが、その内容が不明確であり改善の余地があるのならば対応します。

ただ、その学生さんが、質問の内容等が明確でない場合であれば、カウンターのスタッフに尋ねていただければ対応窓口を紹介します。

学生さんへのお知らせは学務ネットでされていることはご存じのとおりです。お知らせの内容について、自身で確認して不明な点があり窓口に行ったケースで、「そんなことネットに書いてあることですから」と周知内容が不明確であるがために質問が生じたにもかかわらず、このような対応であるならば不適切な対応であり、謝罪するに値すると思います。

こんなことは無いとは思いますが、学務ネットで周知された内容の詳細を自身で確認することが手間だから窓口にお問い合わせをするケースもあると聞いています。

学生さんへの周知について、不明確な表示とか方法である場合には、その周知により学生さんも混乱することとなりますので、改善をする必要があります。すぐにご指摘を情報発信元にてください。

6. 窓口対応の時間について

《お昼休みの対応はできないのですか？》

●教務課に対する勤務方法等への提言、感謝しています。言われていることについては問題意識をしていますが、労働基準の問題など色々あり、その中で昼休みを12時45分までにして45分から対応しています。多少不都合があるようだが御理解願います。

教務課については学生さんが求める対応は多岐にわたるケースが多く業務時間で十分な対応をさせていたきたいです。

昨年度のキャンパスミーティングで回答したように業務時間まで少しお待ちいただくか、2限開始前に窓へお越しいただくことはできませんか？

7. 部活動への補助について

●部活動への補助については、毎年度当初に各クラブ・サークルから物品援助や要望事項等を確認し、本学の予算又は後援会の予算から援助しています。

なお、22年度は約2,100千円の物品援助の他、クラブ・サークル用10連小型倉庫の設置、ソフトテニス部倉庫の設置、テニスコート審判台等の更新、体育系クラブハウス1棟の改修等を行いました。

8. 運動施設について

《体育館の床、けが人も出ている。電球もたくさん切れている。対応してほしい。》

●電球については、現在取り替えの準備中であり、できれば7月中に取り替えを行う予定です。

1個切れたら直ぐに取り替えできれば良いのですが、取り替えには時間がかかるため体育館の使用を一時使用中止にする必要があります。そのため長期休みの期間(夏休み・冬休み等)にまとめて取り替えを行っていることをご理解願いたい。

●床については床の状況確認後、予算要求を行い予算化され、9月に改修予定で現在準備を進めています。もうしばらくお待ちください。

●本年度、複数のクラブから体育館の床が滑るから改善願いたい旨要望が出されたので、学生支援課からも施設課に連絡し、予備費4,974千円が措置されています。

《トレセンがきれいになりますように！》

●「きれいになりますように」と言われてなにをしてもらいたいかわかりませんが、トレセンに行き確認したところモップで寄せたホコリ・ゴミが隅にかためて放置されていたりして床にホコリ等がある状態でしたので清掃のことということで回答します。

まず、トレセンの清掃は使用者が清掃することが基本となっています。そのため、クラブ(部活)として届けて使用しているクラブは、クラブ間で調整を行い、クラブ毎に清掃日が決まっています。クラブでの使用以外に個人的使用もありますが、使った方の清掃が行き届いていない状態と見受けられます。

とはいえ掃除道具がモップしか見当たらず、モップだけの清掃には限度があると思われますので、掃除機等の清掃道具の充実に向けて努力していきたいと考えています。

お互いに使用したらきれいにならせます。

9. 教育設備の不具合について

《音楽等の練習室及びプレハブのピアノの調律が、おかしいので調律してほしい。》

●年に一度調律を行っています。もっと行いたいのですが、現在の予算ではそれ以上は無理の状態です。年一度の調律も他の予算を割いて行っている状態であることをご理解願いたい。

なお、現在は練習室には空調を設備し、以前のように熱風等が直接掛かり、ピアノへの悪影響はなくなるように対応してきました。

10. 学生寮について

●新学生寮の施設概要、設備等については、内容確定後に本学ホームページ等により公表したいと思っています。

なお、新学生寮の学生負担を軽減するため、新寄宿料は12,000円～15,000円に留める他、新寄宿料の免除措置も実施することにしていきます(新学生寮に係る寮費の額については、今後寮生総会で検討予定)。

11. ATMの増設について

《ATMの種類をもっと増やしてほしい。》

●現在、郵便局と岡崎信用金庫のATMを設置しています。以前、三菱東京UFJ銀行のATMも設置していましたが、利用率が低く撤退されました。銀行の経営判断となりますが、多くの学生や教職員の利用が見込めれば、当該銀行に要望することは可能と思われます。

12. 喫茶店やコンビニ等の設置について

《食堂・喫茶店やコンビニを増やしてほしい。》

●本学は学生の福利厚生を第一に考え、現在、食堂等の経営を生協に委ねています。近年、生協営業時間の拡大やコンビニの設置要望等が大きくなっていますが、本学の立地条件や利用見込み等から経営面についても考慮すると、生協営業時間拡大やコンビニの設置に踏み切れない状況にあります。引き続き検討していきたいと思っています。

13. エアコンについて

《今年度のクーラー使用の原則、とくに「節電計画」についての疑問・不安があり、説明されたい。》

《昼休み時間、授業後等の部活の時間に、エアコンが利用できるようにしてほしい。》

●共通棟のエアコンに対する要望が多く寄せられました。まず大学の冷房計画及び省エネルギー対策として、冷房期間は7月1日～9月10日(上記以外の期間において著しい気温及び湿度の上昇等により講義室等必要な場合においての対応は可能とします。)・冷房時間は9時～16時30分・冷房中の室温は28℃以上に調整し、部屋を離れる場合は、必ずスイッチを切るものとする。になっています。共通棟の冷房は、室温設定26℃に設定し、要望により冷房期間より早く冷房を入れ対応しています。

なお、16時30分以降の対応については検討させていただきます。

「緊急節電対策」の一環として、昼休み時間の消灯、空調の停止を実施していますので、ご協力ください。

また、授業後についても、節電対策の一環として、昨年度同様空調を停止しています。

●クラブ活動の部室については、節電対策や経費を踏まえたうえで、エアコン設置の必要性及び可能性を検討しています。

《予め定めた期間及び温度での集中管理は、現実的でなく、部屋等による温度操作が可能となるようにしてほしい。天井設置の扇風機との併用も必要ではないか。》

●室温を、適温を超えて下げたり、上げたりすることのないよう集中管理という形態をとっています。

●大きな講義室(特に天井の高い講義室:第一共通棟201, 301, 第二共通棟411, 421, 431)については、冬期の暖房の利きが悪いということがあり、天井送付機を設置して暖かい空気を下へ送り暖房効率を上げるような工夫をしているものです。他の部屋の送風機設置は、費用の関係もあり直ちに対応することはできません。

《専用棟(クラブ・サークル棟)、国文等の科室にエアコンをつけてほしい。》

●人文・社会、教育系の科室は、第一人文棟等の耐震工事に併せて科室の改修を行い、ゼミナール室としました。そのゼミナール室は、学系の共通管理施設として学系長預かり施設としました。講座か

らの貸出要望に応じて学系長がゼミナール室として講座に貸しているものです。

科室にエアコンを付けて欲しいという要望はゼミナール室にと解釈します。演習室には講座の予算(お金)により設置されている所もありますが、現在ゼミナール室にはエアコンは設置されていない状況です。ゼミナール室は借用ですが、エアコン設置の必要性を考慮して設置する判断と設置費用は講座が負担することになっています。そのため、この件については所属の講座の先生と話をさせていただきたいと思います。

14. トイレについて

《障害児教育棟のトイレの改修をしてほしい。とくに男子用の車椅子用トイレがないのは問題である。緊急に対応してほしい。》

●トイレ改修については、年次計画を作成し、順次行っています。障害児教育棟については、2012年度に実施予定となっておりますが、財政状況が厳しい状況でもありますので、実施が遅れることもあります。

現在身障者用トイレは、女子便所からの出入りとなっています。改修の際には、男女使用可能な身障者便所になるような改修を行うよう考えています。

《美術棟、情報人文棟等、まだ改修されていないトイレ、はやく改修してほしい。》

●古いトイレから順次改修しています。美術第一実習棟については、平成21年度に改修を実施し、現在は、きれいなトイレになっていますので、一度利用してみてください。

人文情報棟については、昭和63年建設で築22年となっています。一般的に設備改修の目安として築25年以上経過と考えていますし、人文情報等のトイレについては、それほど汚いということもないと思いますが、大学全体の古いトイレが改修されているため、周りに比べて見劣りすると言うことはあります。

また、窓がないため換気扇を停止すると臭いこもるということ、照明が暗い、トイレブースの一部が破損しているということがありますので、一部改修を考えてはいます。

《トイレの窓にきちんと網戸をつけてほしい。》

●トイレについては、換気設備を設置していますし、防犯上の観点からも開けて使用することは想定していません。また、使用時も長時間使用するところでもないのに網戸を設置する必要性はないと考えています。

15. 科室・ロッカーについて

《4年間使える個人用ロッカーがほしい。》

《学生全員分のロッカーを用意してほしい。》

●2年生以上のロッカーは各専攻・選修・コース等で用意することになっていますが、大学全体や個々の選修・専攻等の事情もあり整備されていない所があるようです。まず何処が整備されていないかから確認させていただきます。ただし、整備をどうするかは今後の課題とさせていただきます。

大学として統一して整備するかどうかについては、設置場所の問題等もあるので、今後検討させていただきます。

●1年生は図書館下のロッカー室に全員分用意していますが、2年生以上はスペース等の問題等により、一部の講座に所属する学生は用意されていますが、多くの学生には用意されていません。それは、過去の経緯から所属講座により科室・ロッカーの扱いが違うからです。

今回、人文系と教育科学系の一部学生は耐震工事に併せて用意されました。

今後の対応についてはロッカーを置くスペースの確保が問題であり、これは大学全体の施設の利用計画と合わせて行く必要がありますので、将来の施設の問題として考えていきたいと思っています。

《数学科・自然科学棟に科室が欲しい。(自習や話し合いができる部屋)17時前に鍵を返さなければ

ならず、意欲があっても遅くまで勉強や話し合いができない。》

《**幼教の科室がほしい。**》

《**特支の科室がきれいに立て直されますように。現在プレハブです。他学科よりもボロボロ。**》

●人文棟の科室は、耐震工事の際に科室の改修と共に各講座の管理から学系長の管理に移行して共同管理になりました。その際、部屋名も科室からゼミナール室に変更になりました。

そのゼミナール室は、講座が使用の必要理由を添えて、学系長に借用の願い出を提出して、学系長が1年間単位でゼミナール室として利用を認める制度になっています。ですからここにおいては、科室はありません。

既に以前は科室と利用して居た部屋も、この大学の方針により科室は廃止されてきました。特に、文系と理数系では部屋の利用方法に対する違いが大きく、今の大学の方針以前に色々事情があり、理数系はいち早く科室は廃止されました。

そのことから、今後科室を設置することは、大学として考えていません。大学としては限られた施設をいかに有効利用して行くかを考えて将来設計していきますので、現在のところ要望には添えないところです。一応、要望があったことは受け止めておきます。

《**「科室」等について、科による差異があるが、学生はこの問題をどこに要望するべきなのか、また大学全体としてどうなっているのか、わからない。**》

●現在ゼミナール室・ロッカー等は科により差異があることは承知していますが、科・講座毎の過去の経緯等によるところが反映されてきたものが大きく、なかなか解決には難題が多く対応が難しいことをご理解願います。

なお、「学生はこの問題をどこに要望するべきか」ですが、要望等はまず、講座の教員に要望し、その講座で対応を協議し、講座で対応できなければ、講座代表が学系長に委ね、役員会で検討することになる方法が本来の方法ですが、意見目安箱に意見・要望を学長宛に出し、それを学長が判断する方法もあります。

しかし、今大学が置かれている状況は、今後ますます厳しいものがあり、皆さんの要望に添えないことが益々多くなることが予想される中で少しでも改善に向けて努力していることは理解願います。

16. 休憩室のような場所が欲しい

●どのような使用目的の休憩室かが不明ですが、第一共通棟の2階及び3階にあるリフレッシュスペースや各科の科室を利用していただければと思います。

17. 自販機・ウォータークーラーについて

《**共通棟に自販機がほしい。美術科や音楽棟等、現在自販機の位置から遠いところでの活動している者のために自販機を設置してほしい。**》

●大学としては、自動販売機が多ければ多いほど設置場所を貸している土地の収益が増えてよいのですが、自動販売機の売り上げ自体を考慮していませんので、マーケット数およそ5000名がどのぐらい購入し、どの程度収益が出そうかを、設置者であるコココーラやキリンが、採算が見込め、設置が希望されれば、所定の手続きを踏んでいただき設置することは可能です。

ただ現実には講義室などが購入した飲食物の残骸で汚れていたりすることも多々あるようです。こうした現状を踏まえて自動販売機を増やしたい相談がありましたら、学生支援課へ設置申請をして、許可が出れば、施設課に通知され設置の手続きを進めることになります。

《**熱中症で倒れる学生がいるのに、運動施設にウォーター・クーラーを設置しないのは危険ではないか。是非設置してほしい。**》

《**昨年度キャンパス・ミーティングで検討の余地があるとされていたが、その後検討されたのかどうか回答してほしい。**》

●昨年度のキャンパスミーティングでも要望がありましたが、以前、野球場近くにウォータークーラーを設置していましたが、衛生上の問題(大腸菌)もあって撤去した旨説明し、了承をいただいています。

そんな経緯の中、現在運動施設には第一体育館・第二体育館・附属屋及び運動場(陸上競技場横)には設置されています。

熱中症対策としてのウォーター・クーラー設置要望ですが、今のところ設置場所の問題・衛生管理の問題・水道管の設置等問題があり、増設については検討が進められていませんが、熱中症対策の一つとして運動場用として製氷機を設置する計画をたてて予算要求の準備をしているところです。なお、熱中症予防に水分補給は必須ですので、ウォータークーラーの有無にかかわらず、各クラブ・サークル又は個人でも対応願います。

18. 駐車場不足について

《2時間目に来ると駐めるところがない。お金を払っているのだから、もっと整備してほしい。》

《昨年キャンパスミーティングでは「順次整備している」との説明だった。1,200 台分からどの程度拡大したのか回答されたい。》

●昨年のキャンパスミーティング以降は駐車場を増やしていません。

・現状の駐車場の駐車台数可能台数 1,188台(舗装部分 1,093 台、未舗装部分 95 台)

現状の許可台数 1,865台(学生等 1,334 台、職員等 531 台)

平成 23 年 7 月 21 日(木)10 時 30 分～10 時 50 分の駐車状況 空き 約 333 台

平成 23 年 7 月 22 日(金)13 時 00 分～13 時 30 分の駐車状況 空き 約 169 台

平成 23 年 7 月 25 日(月)10 時 30 分～10 時 50 分の駐車状況 空き 約 149 台

平成 23 年 7 月 25 日(月)13 時 00 分～13 時 30 分の駐車状況 空き 約 159 台

高校西、大学会館北のように第一共通棟から離れたところには、まだまだ空いている駐車場がありますので、利用して下さい。また第一共通棟の近くの駐車場を利用したい場合は、朝少し早めに来ていただくようお願いします。

・入構許可証については、入構を許可するものであり駐車スペースを保証するものではありません。また、発行手数料(2,000 円/年)については、総額年間 3,40 万円程度になりますが、入構許可証の作成費及び駐車場の整備費の一部に使用しています。

参考までに、刈谷市の月極駐車場使用料金は、青空駐車で 5,000～6,000 円/月となっていて、愛教大の入構許可手数料 2,000 円/年は、非常に安い状況にあります。

19. 名鉄バスについて

《バス代高い/バスの料金を下げてほしい。》

●名鉄バスについては、バス代の値下げ、バスの増便、等について、これまでも知立営業所のみならず、名鉄バス本社に対してもお願いをしてきており、今年も要望を行っているところです。ただ、ご存じのとおり、民間のバス経営なので、利益が優先となるようです。知立駅～愛知教育大学間の便数については、ピーク時には1台では足りないくらいの利用があるので、必要に応じ臨時便の運行も行ってもらっています。ただし、長蛇の列がなかなか解消しない時間帯もあるので、これについては、大学側からもこれまで幾度ともなく臨時便の増便等についてお願いしてきたし、今後も状況を見ながら、これらの状況が解消されるまでお願いを続けていきたいと考えています。

むしろ、こちらからお願いしたいのが、臨時バスの発車がないことによって、授業への遅刻がどの程度発生しているかの報告です。これらについては、是非調査したいと思っているので、何時何分から待っていて何時の便と何時の便に乗れなかったから遅れたというメモを授業担当教員に渡すなどしてほしいと思います。大学として、授業への支障の程度を測り、そのデータを持って具体的な要望をしていきたいと考えていますので、協力をお願いします。(その前に、それが分かっていたら、もっと早いバスに乗るなどの努力もお願いします。)

《日進駅行きのバスの便数を増やしてください!!せめて最後のバスの時間を遅くして下さい!!》

●バスの本数の増を要望するのであれば、利用率を上げる必要があります。日進駅、刈谷駅行きの利用は、現状特に少ない状態です。もちろん、大学としては、これまでの本数の維持等はお願いますが、大学全体の自家用車での通学をなるべく少なくして、これらの公共交通機関の利用率を上げてい

かなければ現実として、増便は難しいでしょう。エコキャンパスの創造とCO₂量の削減の観点からも、是非本学の職員含め、積極的な公共交通機関の利用をお願いします。利用率が上がれば、増便や、最終バスの時間を遅らせるなどの便宜を図ってもらいやすいでしょう。

20. 学内の治安維持について

《盗難が多いので厳しく取り締まってほしい、自転車やバイクの盗難・破壊などがある。》

●見回りを行っていますが、どうしても盗難・破壊などが多く発生しています。自転車やバイクだけでなく、窓やドアなど、大学施設の破壊なども発生しています。見回りを行うことで、抑止力向上に努めたいと思っています。

なお、学内者も良識ある行動を心がけてほしいですし、不審者を見かけたらすぐに守衛や事務に通報するようにしてほしいと思います。

●盗難被害については、各学生が普段から防犯意識をもって生活し、犯罪防止に協力願います。

なお、盗難被害に遭った場合は、当該学生の意志を確認した上で、警察に被害届を提出するように勧めています。

《夜大学構内に変な人が入ってくるらしいので、門の守衛をもっとしっかりして下さい。》

●夜間での大学構内の見回りは行っていますが、不審者の侵入もやはり発生しています。被害がないよう、大学としても対応はしていますが、夜間の大学構内になるべく残らないことが不審者の被害に遭わない有効な手段であるので、夜間の大学構内を歩くのはなるべく控えるようにお願いします。

また、みなさんにも、良識ある行動をお願いしたいと思います。

《バス停がもう少し大学建物近くまで来てほしい、坂が大変、講堂前にバス停を！》

●ハンプ(スピード抑制のためのかまぼこ形のもの)が横に渡してあるので、バスの構内への進入には限界があります。理解をお願いします。なお、事故防止のためにハンプを設置しているので、それを撤去することは考えられないことを御理解ください。

21. 池の汚れについて

《池がきたない。》

●池の水をきれいに保つには、常に水の入替えが必要ですが、水道水を常に出している状態になると水道料の負担が多くなります。そのため、現在は最小限にしていますが、これからは井戸水を利用することを計画しています。

なお、オープンキャンパスに併せる形ではありますが、7月25日に清掃しました。

22. 図書館について（情報関係含む）

《無線 LAN の有効範囲が狭いことについて》

●無線 LAN は有線 LAN に比べ接続の確実性に欠け、複数設置すると電波が干渉し合い、接続の確実性に欠けるところがあります。また、セキュリティの面からも情報漏洩が生じやすく、本学では現在のところ無線 LAN での接続は推進していません。主は接続の確実性及びセキュリティの高い有線 LAN を利用してください。

《ブックツアーで選書した本が図書館に配架されるのに、とても時間がかかった気がします。せっかく選んだので、もっと迅速に配架して欲しいです。》

●本学図書館では毎年約10,000冊弱の図書を購入しております。それ以外にも寄贈図書や研究室から返却された図書もあり、それら1冊1冊を複数本がないか確認を行い、図書番号貼付、請求番号貼付、書誌・目録データ作成など各種手続きを経た上で配架できるものであり、配架までに時間がかかるものです。

《図書館の利用時間が少しでものびますように。特に休日。PM5時って、しかも PM4:40ぐらいで帰れって言われるがとても困る。》

●本学図書館では平日は9時～22時、土日祝日は11時～17時の時間帯で開館しており、これ以上の時間延長は考えておりません。

《研究室配架の図書が学外者でも借りられますように。元愛教大生》

●研究室配架の図書は教員の授業用や教育研究用に購入されたものであり、図書館配架の図書とは少し異なった利用がされており、学外者への貸出は考えておりません。